

Bonjour

ボンジュール!!

2017年
5月31日号

Vol.358



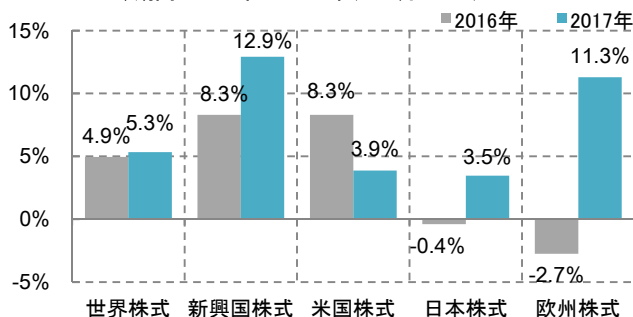
新興国株式を今「買うべき」理由とは？

● 米国よりも好調、新興国株式

最近、世界の株式市場が好調ですが、実は**主要市場の中でも好調といえるのが新興国株式**です。新興国株式市場は2016年、米国株式に並んで好調でしたが、今年に入ってからも米国株式を上回って上昇しています。

■ 各株式の年別収益率

円ベース、期間：2016年と2017年（～5月29日）



世界株式：MSCI 世界株価指数、新興国株式：MSCI 新興国株価指数、米国株式：MSCI 米国株価指数、日本株式：MSCI 日本株価指数、欧州株式：MSCI 欧州株価指数、いずれも配当込み

※MSCI 指数は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
出所：ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

● 好調の理由は？

・世界的な景気回復

米国やユーロ圏をはじめ、長期間にわたる金融緩和策等が功を奏して世界的に景気が回復してきています。さらに、米国や中国などでのインフラ投資も拡大しており、これらを背景に様々なモノの需要が拡大することが期待されます。それに伴い、様々なモノの原材料となる原油や銅、鉄鉱石などの資源価格も上昇すると考えら

れます。新興国には資源国が多く存在していることなどから、**資源需要の拡大は新興国経済や企業にとってプラス**となると思われます。

・先進国のインフレは新興国に追い風

また、景気回復に伴い**米国やユーロ圏はインフレ(物価上昇)傾向**にあります。

過去、インフレは、新興国株式市場にとってプラス材料でした。

ある程度の**インフレは企業利益の伸びにプラス要因**となります。過去のデータでは、米国のインフレ率が前年同月比プラス2～4%となると、その約半年後に米国企業の利益成長率も連動して上昇する傾向にありました。さらに、**新興国の企業の利益は、米国企業を上回る相対的に高い成長**がみられました。これは、新興国株式市場にとって追い風となることが期待されます。株価は、短期的には様々な要因で変動するものの、長期的には企業の利益成長を反映して動くといわれており、こうした利益成長は株価の上昇要因のひとつです。

● PERも割安で魅力的な水準

また、新興国株式は、PER(予想株価収益率)でみても、今後期待できそうです。2017年3月末時点の**新興国株式のPERは12.1倍と米国の18倍と比較して、相対的に割安な水準**にあります。これから投資を考えるなら、より割安な水準の国の株式のほうが注目度大かも！

※MSCI 指数は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。